



第4回

中原区ソーシャルデザインセンター 創出に向けた意見交換会

中原区役所まちづくり推進部企画課

令和3年11月19日(金)18時30分開会

次第

1. オープニング
2. おさらい
3. 第3回意見交換会のふりかえり
4. チームごとの検討
5. 次回への準備
6. 検討内容の共有
7. その他

※意見交換の際等お話しいただく場合以外はミュートをお願いします。事務局の方でミュートにさせていただく場合がありますが、御理解ください。

1. オープニング

○みんなであいさつタイム

会場の方は会場内で、オンラインの方はオンラインの方同士で、次の3点をおひとり「30秒」で話し合しましょう。

①お名前

②中原区とのつながり

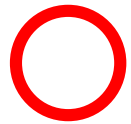
③去年からの1年間で変わった身の回りの〔もの・こと〕

<流れ>

シンキングタイム（2分） → あいさつタイム（5分）

おさらい

ソーシャルデザインセンターとは・・・
地域で新しい活動や価値を生み出す基盤
(プラットフォーム)



- ・コミュニティ活動の基盤
- ・地域主体(地域住民)
- ・資源を持ち寄る、
自主財源を探す
- ・コミュニティの基盤
づくりに必要なこと



- コミュニティ活動
- 行政(区役所)
- 行政からの補助金

- 活動場所

いまやっていること

ソーシャルデザインセンターの機能である地域の活動・価値を生み出すための活動を実践

**→実践の中でソーシャルデザインセンターに必要なこと
(機能)を探る**

おさらい

		R3年 8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月
意見交換会	SDCやること (機能)検討	取組案の検討					検証・機能の整理 デッサンの修正			
	SDC運営体制 検討				今回		運営体制等の検討			
チャレンジ事業				随時実施			★ 1/21成果報告会 (予定)			
中原区ソーシヤルデザインセンター 運営開始(予定)										

3. 第3回意見交換会のふりかえり

○実施概要

日時：10月29日 18時30分～20時30分

会場：オンライン

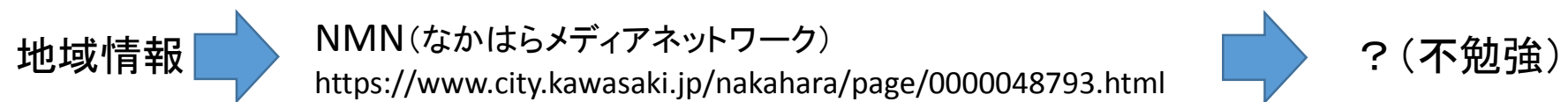
人数：16人

「NMNの活用」チーム企画書(第3回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

◎企画書

企画名	ローカルメディアの最適MIX
何のために？	中原区を中心とした良好なコミュニティの実現のため ①災害時の共助 ②地域のスポーツ団体やイベントの募集/告知を伝達することによる、より健康で文化的な生活の実現
誰のために？	・情報の受け手たる、中原区在住の老若男女 ・(区域外住民である)スポーツ団体・イベントなどの主催者
何をやる？	・別紙参照
場所	・オンラインに限定しない
役割	未定
スケジュール	未定

ローカルメディアの最適MIX(案)



【B面】

- ✓ NMN経由情報に加え、それ以外の情報も広くあまねく取込
- ✓ 当該情報を、「事件事故/防災」「イベント」「お誕生/おくやみ」などカテゴリ分けして整理(のみ)
- ✓ リリース文面にはしない

(仮称)NCHub(なかはらコミュニケーションハブ)

本取り組み

- 各ローカルメディア
- ・かわさきFM
 - ・タウンニュース
 - ・イツソコムほか

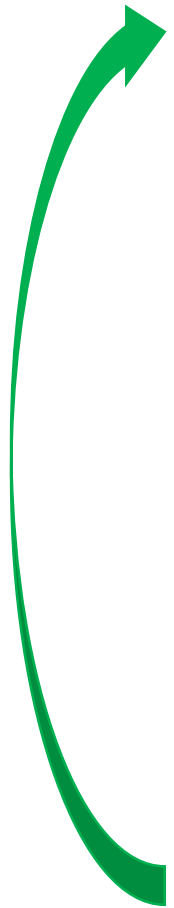


【A面】

- ✓ 各ローカルメディア紙面/報道内容の提供を受けて掲示
- ✓ 中原区民等が閲覧/視聴⇒イベント参加等
- ✓ 当該中原区民が市民特派員/市民記者に

(仮称)NCHub(なかはらコミュニケーションハブ)

本取り組み



「NMNの活用」チーム企画書(第3回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

ノート (自由に活用ください)

- ・イベントを後から知ることが多い。オンラインに不慣れな人でも紙媒体でも情報取れるように。

<NCHubについて>

- ・お金をかけずに誰もが情報を入れていけるハコがあれば役目を果たせるのでは。
- ・NMNは、FM・イツコム（区役所のチャンネルもある）・Tニュース（中原区編集部）が組んで作った？がなかなかうまく機能していない。
 - うまくまとめていくのは役所としてもよいのではないか。
- ・広告料の取り扱い
 - メディアが取り上げたい情報であれば、広告料不要のはず。
 - 地域の情報は欲しいはず。
- ・Tニュースは紙面を埋めたいときに探している。
 - 推しを伝えられる人がいないと、選ぶのが難しい⇒目利きできる人がNCHubに必要
- ・NMNは区が何か発信する際の窓口になってる。
- ・東京新聞、神奈川新聞などへのルートになってもよい
- ・（取材元：NCHub）などと書くのを義務付ける、
- ・新しいものがあるところには人が集まる

<オフライン時>

- ・19号の時は、どう町民に伝えるか
 - 有線放送・災害放送を起点にする

「〇〇オフー、〇〇案内所」チーム企画書(第3回中原区SDC創出に向けた意見交換会)

◎企画書

企画名	〇〇オフー、〇〇案内所
何のために？	オンラインでコミュニティやプロジェクト紹介 / 複数のSDCを繋ぐ / 何かやりたいという人の繋ぎ役 / 何をやっていいか考え中の人も何かやっている人が触発してくれる / コミュニティ活動をしているけど困っている人 / 誰かのコミュニティやプロジェクトを支援・応援したい人(プロボノ) / 点在しているコミュニティや情報を集約 /
誰のために？	何かをやりたいけど、誰に相談すればいいかわからない人 / 街に関与したいけど関与のしかたがわからない人 / 街の情報が欲しい人 / いきなりリアルで聞くのは恥ずかしい人 / やりたいこともアドバイスしてくれる / プロボノ /
何をやる？	ディズニーランドの受付(案内所)のように街の楽しみ方(コミュニティ・プロジェクト・人・場所)を紹介 → パークの中は自由に楽しむ / 時間や曜日でテーマを決めて案内 / デジタルとアナログの融合で便利さと温かさを / 案内所に行けば全てが解決する！ / 世話役がいる / 案内の達人がいる / 案内せずに会話しちゃうだけでもO.K. /
場所	オンラインとオフラインの両方の案内所 / 24時間365日・学校や仕事の時間を避けて / オンライン(フリーアドレスの案内板 oVice) / リアルな案内板 / 電子黒板・デジタルサイネージとスマホの連携(QRコード) /
役割	プロボノの登録 / コミュニティ・プロジェクト・SDCの案内 / シンプルにメニュー案内 / リアルとオンラインで案内 / わかりやすく楽しいインターフェース / Touch & GO /
スケジュール	

◎企画書

企画名	
何のために？	高齢者が元気であること、健康寿命を延ばすこと 人との交流が新たに生まれていくことが大切 世代を越えた繋がりが生まれる場をつくりたい
誰のために？	地域に住む高齢者、地域に住む家族のため(親が元気であれば安心して自分たちも活動できる) 自身の健康のためであり、家族のため 自分のため(価値発揮の機会)、地域の人たちのため(地域の子どもたちのためにも)
何をやる？	目的:健康維持、つながりを生む、世代間交流、価値発揮・・・ 手段:体操の機会を活用して → 案. 世代間交流の観点を取り入れた「健幸アップ体操」イベントの実施(実施に向けたアンケート) → 案. つながりを生む「健康アップ体操」
場所	
役割	
スケジュール	

健康
つながり

◎企画書

企画名	(仮)「子ども食堂から、みんな食堂へ 一地域のふるさととなる食堂を目指して」
何のために？	老若男女、世代間交流
誰のために？	子どもだけじゃない、つながりたい人、居場所が欲しい人、社会と接点がない、家にいづらい人
何をやる？	昭和の給食（ソフト麺、ミルク）と今の給食が食べられる 年配者が昔の遊びを教えて、子どもたちがテクノロジーを教える さまざまな人や立場の違いを超えて交流できる場（ロボットいてもいい） 他のプロジェクトとのコラボ（健康体操）
場所	国際交流センター、せせらぎ、企業の社員食堂、中原区役所の芝生
役割	
スケジュール	

ノート（自由に活用ください）

【ふるさと食堂のイメージ】

- 誰でも気軽に来れるところ、おいしいお菓子を食べられる
- 老若男女が来て、楽しく遊べる場所
- そこに行けば会える、おいしいご飯が食べられる、ホッとできる、温かい場所
- みんなでご飯を食べることの大切さ、孤独解消
- 地域の人同士が繋がれる場、年齢関係なく、困っていようと困ってなくてもOK
みんなが立ち寄りやすい場所

【子どもだけじゃなく誰でも参加できる場のイメージ】

- 野菜を販売すると、近くのおばあちゃんとかが来てくれる。
おじいちゃん、パパが来れる様に、立ち飲みスタンドバー
キャッチボール、昭和の遊び（ベーゴマなど）、得意を持ってくる
- 昭和が流行ってる、昭和の給食（ソフト麺、ミルク）が食べられる
来れない人に配色してオンラインで一緒に食べる
- 今の給食が食べられる（ちくわの蒲焼、カレー）
- 世代間交流、子どもからLINEの使い方を教わる、
おじいちゃんおばあちゃんも子どもの話を聞いてあげる
昔の遊びを教えてもらえる
障害のある人や接することが難しい人が当たり前でそこにいる
リビングライブラリーで話を聞ける場

4. チームごとの検討

○本日の目的

企画案の実現に向けた検討を行う（前回の続き）

○プロジェクトチームによる検討のルール

- ①興味のあるチームに！（「これまで参加したグループだから…」という必要はなし）
- ②最後まで参加できなくても、途中参加もOK！
- ③実現できなくてもOK
- ④チームが解散となってもOK
- ⑤情報共有はSlackで
- ⑥区役所は今回の案内まで

4. チームごとの検討

<本日の流れ (30分) >

- ・興味のあるチームを選んで参加



- ・自己紹介

「名前、所属(あれば) + 前回印象に残っていること」を1人2分で
※前回参加してなければやりたいことのイメージを

- ・進行係、記録係、発表係を決定



- ・企画書を作成

※会場参加の方が記録係の場合：会場の用紙を活用

※オンライン参加の方が記録係の場合：画面共有しながら
資料を編集

時間の目安

10分

20分

4. チームごとの検討

<ご注意>

・今回は1つの企画を選んで参加ください

・ブレイクアウトルームの出入りの操作はご自分で

※わからない方は事務局で対応しますので、お伝えください

4. チームごとの検討

意見交換のルール

- ① 批判しない
- ② 自由な意見、相乗りOK
- ③ ほかの人の話には、身振り、拍手など、
大きなリアクションで
- ④ 今回の内容は公表します。また、出されたアイデア等は参加者全員の共有のものとしてします。

5. 次回への準備(5分)

<決めていただきたいこと>

①次回開催までの調整さんの決定

※調整さん：「次回いつ打合せをやりますか」の投げかけだけ
を行う方。

②チームの連絡手段の決定（slackで問題なければslackで）

6. 検討内容の共有(20分)

1チーム3分で検討状況を共有

発表が終わったら大きな拍手をお願いします。

7. その他

○次回(第5回)意見交換会開催予定

日時：12月17日(金) 18時30分～20時30分

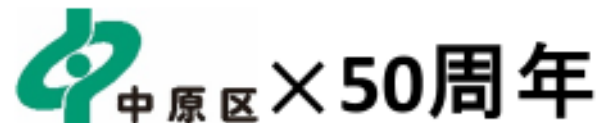
会場：オンライン

議題：チームごとの検討

詳細は追って御連絡します。

7. その他

－ 2022年4月1日で中原区は区制50周年を迎えます－



みんなで決めよう!

区制50周年記念ロゴマーク

区民投票

にご参加ください

－投票期間－

11月15日(月)



12月15日(水)

－投票方法－

詳細は区HPを
ご覧ください



区HP

ロゴマークの候補はこの4つ



問い合わせ 中原区役所まちづくり推進部企画課

電話：044-744-3149 E-mail：65kikaku@city.kawasaki.jp

おわりに

ご不明な点やご意見、また、新しい参加者のご紹介も常時歓迎しておりますので、何かございましたら、中原区役所企画課までご連絡くださいますようお願いいたします。

今日は
ありがとうございました

